

初当選から任期4年中3年が経過、残すところ1年ばかりとなりました。私の理念である「骨を埋める価値がある、次世代に誇りを持って譲れる街づくり」を最後まで追求して参ります。

稻成起風



平成26年(2014年)3月31日
発行: 稲成会(鈴木誠後援会)事務所
稲城市平尾2-77-1 TEL 090-2453-8382
<http://inagi.info>

平尾地域に消防分署建設!

私自身が稲城市議会議員選挙に出馬した理由のひとつであつた「市南部地域に救急車を配備すること(平成23年2月8日発行の本紙創刊号参照)」に取り組み始めて3年目、遂に計画化されました!これまで本会議や委員会、議会外でも再三に渡り同事項の要望・質問をして来ておりますが、本議会の市政方針において「消防施設及び消防機動力の充実について消防署から遠い地区の緊急車両到着時間を短縮するため、消防分署の建設に

一般会計362.5億円! 稲城史上最大予算

**平成25年度比53.6億円増
特別会計を含むと621億円という巨額予算に:**



今議会に提出された議員定数調査特別委員会報告は、各政党・会派の持論を述べただけ。平成26年度も更なる議論が必要になります。

平成26年度の稲城市予算の内、市立病院や土地区画整理、保険事業等の特別会計を除いた一般会計は362億4800万円。土地区画整理事業の推進、(仮称)南山小学校の建設、悲願であった平尾・坂浜・若葉台を中心とする市南部地域への消防分署建設のための土地取得など、市内の基盤整備を積極的に推進していく内容。しかし、市税が前年度比4.2%増の149億円と予測されるなどの好材料はあるものの、基金を9.8億円取り崩す、地方債が18.6億円増加する、といった点も見られ「健全財政の維持」の担保が出来ていいかを精査。前年度から大幅に増加しているほとん



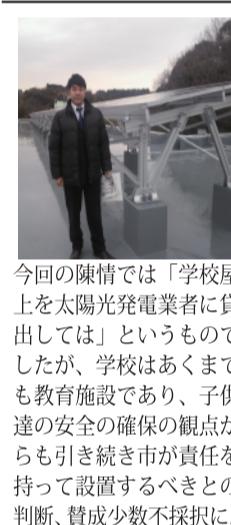
現在の稲城消防署。分署にはポンプ車と救急車が1台ずつ配置予定

向けて工事設計を進めるとともに、上平尾土地区画整理事業地内にある土地開発公社所有地を取得する。」と明記されています。土地区画整理事業の進捗に合わせ早期に取り組むとのことで数年内には完成か。今後住民への説明が行われる予定、素晴らしい計画なので、より丁寧な話し合いを要請中です。

子育て世帯の消費税増税緩和対策「1万円」



少ないながらも活用しましょう! 稲城市では今回の予算でも審議されている福祉関連システムの改修等お見逃しなく!



『iバスに関する下段及び裏面の記事も併せてご見下さい』

iバスの路線見直し・各種改善に向けた提案をしています



iバス車内に掲示されている今回のiバス路線改定のお知らせ。路線図が見辛いことが難点です。

市内下平尾地域ではiバスワゴンタイプを走行させる案が今回見送られているが、本バスへの乗り継ぎや、車両や運転人員を別途確保しなければならない初期投資、そしてランニングコスト(例えばワゴン車であれば10人乗りり車が約250万円、運転手の給与が年に430万円とする塗装や被災地支援継続、学校教育の充実、観光・スポーツ施策への取り組み等々、稲城市として現状出来ることをしっかりと見据えた内容となつており市民の生活と市政運営が十分に勘案されています。

一点、本年の「iバスの路線変更」については誠意を持つて市民の為に尽可能よう要望を付加し、引き続き予算執行の中で提案・議論・調整しながら、世代循環型の町・稲城の実現を目指していくとして、賛成をしております。

他にも、現時点でも問題となつている路線毎のバスを識別するための遠くからでも分かる色やマークの表示、路線図や時刻表をより見易くすることなど(左図下)を具体的に例示してiバスの各種改善に向けて動いております。

どういう案が良いかは口頭よりも図にした方が話が進みます。

①バスカラー
②路線図
③バス停

提案した図案。他にも、読むのが難しい現在の時刻表(全市版)も改善するよう要望中です。



電線に掛かるほど伸びた街路樹。カーブなどの場所によっては幹が重なり交通視野が狭まる危険もあります。

現地の声を聞き歩く

昨年の議会にて「市内の街路樹の高木剪定に要する年間費用は年間約二千万円」との回答を受け、市財政は元より危険性の觀点(老木による倒木、根の伸長による通行者転倒、交通視野狭窄等)からも、より安全で効率的な樹種へ順次植え替えるよう植栽計画改定の要望を続けております。街に合った緑を大切にする観点も大切に推進して参ります。



平成25年6月
議会

一般質問は
議会による

平尾等の道路渋滞や事故
危険性等)の減少に向け、
総合的な広域道路整備が

況改善や新たな政策を提案できる貴
重な機会です。私は「提案解決型議員」
を目指し、批判や理想論を述べるだ
けでなく現実的な提案を示し、着実
に前へ進む市政を心がけています。

◆iバス関連の諸問題について

iバス路線変更では不備等の問題
で数か月の遅れを発生する事態とな
り、平尾地域では説明会や検討会を
設置する等、各地で波紋を広げてい
る。今回の変更案について質すと、
時間と目的地距離の短縮、アンケー
ト結果に基づく利用者の声を統合し
た結果との回答。平尾団地バス停から市役所へは
現在より32分も多い54分
も掛かる点(バス停の減
少含む)、そして市内の
交通状況も区画整理等で
大きく変わる点を指摘
し、第Ⅱ期の見直しを2
ヶ月で実施すること、
平尾地区を含めたiバス見直しを行ふことを確
認。併せて平尾谷戸通りの路線検討に当たつて
は歩車道分離や安全性の確保を第一にするこ
と、下平尾のワゴンタイプ走行案については本
バスとの乗り継ぎやイニシャル・ランニングコ
ストでの最適な検討を実施すること、利用者に
分かり易いバス停・車体・路線図を提案。考案
した図も併せて提出、前向きな回答を得た。



iバスは1時間に1本になるが、問題山積…

鈴木の
誠

一般質問&結果

◆団地再生への取り組みについて

地バス停から市役所へは
現在より32分も多い54分
も掛かる点(バス停の減
少含む)、そして市内の
交通状況も区画整理等で
大きく変わる点を指摘
し、第Ⅱ期の見直しを2
ヶ月で実施すること、
平尾地区を含めたiバス見直しを行ふことを確
認。併せて平尾谷戸通りの路線検討に当たつて
は歩車道分離や安全性の確保を第一にするこ
と、下平尾のワゴンタイプ走行案については本
バスとの乗り継ぎやイニシャル・ランニングコ
ストでの最適な検討を実施すること、利用者に
分かり易いバス停・車体・路線図を提案。考案
した図も併せて提出、前向きな回答を得た。

強く働きかけること、矢野口・稻城長沼・南多
摩の3駅周辺及び梗戸・南山・上平尾・小田良
の各地区画整理事業に市として責任を持つて
しっかりと取り組むこと、そして川崎市や町田
市、多摩市などの近接自治体との広域道路網形
成に政治的パイプを駆使して取り組む必要性を
主張。行政体同士の話し合いだけでなく、政治家
としての立ち位置としてもしっかりと人脈をつ
くつて対応していくとの市長自身の決意表明も
聞くことが出来、今後に期待が膨らんだ。



多3・4・17号線予定地を若葉台側から見る

◆団地再生への取り組みについて

長期総合計画を踏まえ、最重要課題であるは

ずなのにややタブー視され気味な団地再生・建
替えについての考え方を質したところ、現在の
様々な課題を解決し地域

の活力や魅力が向上する

よう、再生・発展を検討

する必要がある認識との
確認ができた。建替えに
安心して合意形成を行つ
つては住民意思が最優
先であるのは勿論だが、
安心して合意形成を行つ
ていくためには行政の
バックアップが必要不可欠であり、近年の多摩
地区の整備、そしてそれを中心とした利便性が
高く、各地区に対し公平な新路線、ICカード
の活用を提案。今後も引き続き、より市民に愛
されるiバスとなるよう働きかけて参ります。

長期総合計画を踏まえ、最重要課題であるは
ずなのにややタブー視され気味な団地再生・建
替えについての考え方を質したところ、現在の
様々な課題を解決し地域
の活力や魅力が向上する
よう、再生・発展を検討
する必要がある認識との
確認ができた。建替えに
安心して合意形成を行つ
つては住民意思が最優
先であるのは勿論だが、
安心して合意形成を行つ
ていくためには行政の
バックアップが必要不可欠であり、近年の多摩
地区の整備、そしてそれを中心とした利便性が
高く、各地区に対し公平な新路線、ICカード
の活用を提案。今後も引き続き、より市民に愛
されるiバスとなるよう働きかけて参ります。

◆団地再生への取り組みについて

長期総合計画を踏まえ、最重要課題であるは

ずなのにややタブー視され気味な団地再生・建
替えについての考え方を質したところ、現在の
様々な課題を解決し地域

の活力や魅力が向上する

よう、再生・発展を検討

する必要がある認識との
確認ができた。建替えに
安心して合意形成を行つ
つては住民意思が最優
先であるのは勿論だが、
安心して合意形成を行つ
いくためには行政の
バックアップが必要不可欠であり、近年の多摩
地区の整備、そしてそれを中心とした利便性が
高く、各地区に対し公平な新路線、ICカード
の活用を提案。今後も引き続き、より市民に愛
されるiバスとなるよう働きかけて参ります。

◆団地再生への取り組みについて

長期総合計画を踏まえ、最重要課題であるは

ずなのにややタブー視され気味な団地再生・建
替えについての考え方を質したところ、現在の
様々な課題を解決し地域

の活力や魅力が向上する

よう、再生・発展を検討

する必要がある認識との
確認ができた。建替えに
安心して合意形成を行つ
つては住民意思が最優
先であるのは勿論だが、
安心して合意形成を行つ
いくためには行政の
バックアップが必要不可欠であり、近年の多摩
地区の整備、そしてそれを中心とした利便性が
高く、各地区に対し公平な新路線、ICカード
の活用を提案。今後も引き続き、より市民に愛
されるiバスとなるよう働きかけて参ります。

◆団地再生への取り組みについて

長期総合計画を踏まえ、最重要課題であるは

ずなのにややタブー視され気味な団地再生・建
替えについての考え方を質したところ、現在の
様々な課題を解決し地域

の活力や魅力が向上する

よう、再生・発展を検討

する必要がある認識との
確認ができた。建替えに
安心して合意形成を行つ
つては住民意思が最優
先であるのは勿論だが、
安心して合意形成を行つ
いくためには行政の
バックアップが必要不可欠であり、近年の多摩
地区の整備、そしてそれを中心とした利便性が
高く、各地区に対し公平な新路線、ICカード
の活用を提案。今後も引き続き、より市民に愛
されるiバスとなるよう働きかけて参ります。

◆団地再生への取り組みについて

長期総合計画を踏まえ、最重要課題であるは

ずなのにややタブー視され気味な団地再生・建
替えについての考え方を質したところ、現在の
様々な課題を解決し地域

の活力や魅力が向上する

よう、再生・発展を検討

する必要がある認識との
確認ができた。建替えに
安心して合意形成を行つ
つては住民意思が最優
先であるのは勿論だが、
安心して合意形成を行つ
いくためには行政の
バックアップが必要不可欠であり、近年の多摩
地区の整備、そしてそれを中心とした利便性が
高く、各地区に対し公平な新路線、ICカード
の活用を提案。今後も引き続き、より市民に愛
されるiバスとなるよう働きかけて参ります。

◆団地再生への取り組みについて

長期総合計画を踏まえ、最重要課題であるは

ずなのにややタブー視され気味な団地再生・建
替えについての考え方を質したところ、現在の
様々な課題を解決し地域

の活力や魅力が向上する

よう、再生・発展を検討

する必要がある認識との
確認ができた。建替えに
安心して合意形成を行つ
つては住民意思が最優
先であるのは勿論だが、
安心して合意形成を行つ
いくためには行政の
バックアップが必要不可欠であり、近年の多摩
地区の整備、そしてそれを中心とした利便性が
高く、各地区に対し公平な新路線、ICカード
の活用を提案。今後も引き続き、より市民に愛
されるiバスとなるよう働きかけて参ります。

◆団地再生への取り組みについて

長期総合計画を踏まえ、最重要課題であるは

ずなのにややタブー視され気味な団地再生・建
替えについての考え方を質したところ、現在の
様々な課題を解決し地域

の活力や魅力が向上する

よう、再生・発展を検討

する必要がある認識との
確認ができた。建替えに
安心して合意形成を行つ
つては住民意思が最優
先であるのは勿論だが、
安心して合意形成を行つ
いくためには行政の
バックアップが必要不可欠であり、近年の多摩
地区の整備、そしてそれを中心とした利便性が
高く、各地区に対し公平な新路線、ICカード
の活用を提案。今後も引き続き、より市民に愛
されるiバスとなるよう働きかけて参ります。

◆団地再生への取り組みについて

長期総合計画を踏まえ、最重要課題であるは

ずなのにややタブー視され気味な団地再生・建
替えについての考え方を質したところ、現在の
様々な課題を解決し地域

の活力や魅力が向上する

よう、再生・発展を検討

する必要がある認識との
確認ができた。建替えに
安心して合意形成を行つ
つては住民意思が最優
先であるのは勿論だが、
安心して合意形成を行つ
いくためには行政の
バックアップが必要不可欠であり、近年の多摩
地区の整備、そしてそれを中心とした利便性が
高く、各地区に対し公平な新路線、ICカード
の活用を提案。今後も引き続き、より市民に愛
されるiバスとなるよう働きかけて参ります。

◆団地再生への取り組みについて

長期総合計画を踏まえ、最重要課題であるは

ずなのにややタブー視され気味な団地再生・建
替えについての考え方を質したところ、現在の
様々な課題を解決し地域

の活力や魅力が向上する

よう、再生・発展を検討

する必要がある認識との
確認ができた。建替えに
安心して合意形成を行つ
つては住民意思が最優
先であるのは勿論だが、
安心して合意形成を行つ
いくためには行政の
バックアップが必要不可欠であり、近年の多摩
地区の整備、そしてそれを中心とした利便性が
高く、各地区に対し公平な新路線、ICカード
の活用を提案。今後も引き続き、より市民に愛
されるiバスとなるよう働きかけて参ります。

◆団地再生への取り組みについて

長期総合計画を踏まえ、最重要課題であるは

ずなのにややタブー視され気味な団地再生・建
替えについての考え方を質したところ、現在の
様々な課題を解決し地域

の活力や魅力が向上する

よう、再生・発展を検討

する必要がある認識との
確認ができた。建替えに
安心して合意形成を行つ
つては住民意思が最優
先であるのは勿論だが、
安心して合意形成を行つ
いくためには行政の
バックアップが必要不可欠であり、近年の多摩
地区の整備、そしてそれを中心とした利便性が
高く、各地区に対し公平な新路線、ICカード
の活用を提案。今後も引き続き、より市民に愛
されるiバスとなるよう働きかけて参ります。

◆団地再生への取り組みについて

長期総合計画を踏まえ、最重要課題であるは

ずなのにややタブー視され気味な団地再生・建
替えについての考え方を質したところ、現在の
様々な課題を解決し地域

の活力や魅力が向上する

よう、再生・発展を検討

する必要がある認識との
確認ができた。建替えに
安心して合意形成を行つ
つては住民意思が最優
先であるのは勿論だが、
安心して合意形成を行つ
いくためには行政の
バックアップが必要不可欠であり、近年の多摩
地区の整備、そしてそれを中心とした利便性が
高く、各地区に対し公平な新路線、ICカード
の活用を提案。今後も引き続き、より市民に愛
されるiバスとなるよう働きかけて参ります。

◆団地再生への取り組みについて

長期総合計画を踏まえ、最重要課題であるは

ずなのにややタブー視され気味な団地再生・建
替えについての考え方を質したところ、現在の
様々な課題を解決し地域

の活力や魅力が向上する

よう、再生・発展を検討

する必要がある認識との
確認ができた。建替えに
安心して合意形成を行つ
つては住民意思が最優
先であるのは勿論だが、
安心して合意形成を行つ
いくためには行政の
バックアップが必要不可欠であり、近年の多摩
地区の整備、そしてそれを中心とした利便性が
高く、各地区に対し公平な新路線、ICカード
の活用を提案。今後も引き続き、より市民に愛
されるiバスとなるよう働きかけて参ります。

◆団地再生への取り組みについて

長期総合計画を踏まえ、最重要課題であるは

ずなのにややタブー視され気味な団地再生・建
替えについての考え方を質したところ、現在の
様々な課題を解決し地域

の活力や魅力が向上する

よう、再生・発展を検討

する必要がある認識との
確認ができた。建替えに
安心して合意形成を行つ
つては住民意思が最優
先であるのは勿論だが、
安心して合意形成を行つ
いくためには行政の
バックアップが必要不可欠であり、近年の多摩
地区の整備、そしてそれを中心とした利便性が
高く、各地区に対し公平な新路線、ICカード
の活用を提案。今後も引き続き、より市民に愛
されるiバスとなるよう働きかけて参ります。

◆団地再生への取り組みについて

長期総合計画を踏まえ、最重要課題であるは

ずなのにややタブー視され気味な団地再生・建
替えについての考え方を質したところ、現在の
様々な課題を解決し地域

の活力や魅力が向上する

よう、再生・発展を検討

する必要がある認識との
確認ができた。建替えに
安心して合意形成を行つ
つては住民意思が最優
先であるのは勿論だが、
安心して合意形成を行つ
いくためには行政の
バックアップが必要不可欠であり、近年の多摩
地区の整備、そしてそれを中心とした利便性が
高く、各地区に対し公平な新路線、ICカード
の活用を提案。今後も引き続き、より市民に愛
されるiバスとなるよう働きかけて参ります。

◆団地再生への取り組みについて

長期総合計画を踏まえ、最重要課題であるは

ずなのにややタブー視され気味な団地再生・建
替えについての考え方を質したところ、現在の
様々な課題を解決し地域

の活力や魅力が向上する

よう、再生・発展を検討

する必要がある認識との
確認ができた。建替えに
安心して合意形成を行つ
つて